

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	外国語と外国語文化(中)		
英文授業科目名	Foreign Languages and Foreign Culture		
開講年度	2005年度	開講年次	3、4年次
開講学期	6、8学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	范 建明		
居室	東1-514		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
中国語を通して中国文化を理解しましょう。

【前もって履修しておくべき科目】
中国語演習 中国語運用演習

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
中国語演習 中国語運用演習 外国語とその運用(中)

【教科書等】
教室で履修者の実力をみて決めます。

電気通信大学 平成17年度シラバス

【授業内容とその進め方】

この授業は、もっともっと中国語を学びたい3・4年生のためのものです。例えば自分の家族や友人、大学の生活、専門や趣味、将来の夢などをとにかく中国語で話せるように指導します。また、現代中国の小型小説を選んで購読します。やや難しいかも知れませんが、口、耳などを総動員して、常にチャレンジ精神で授業に参加してください。もちろん、中国語を理解するために、中国の文化、風土、中国人の生き方・考え方や中国の最新事情にも時折触れます。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：

期末試験および小テスト・宿題の結果を、次のように総合評価します。

成績評価 小テスト・宿題 50%

期末試験 50%

(b) 評価基準：

以下の到達レベルをもって最低達成基準とします。

試験成績が60点に達すること。

実用中国語技能検定4級以上合格者に対して有利に考慮します。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けませんが、火曜日の1300～15:00の間が望ましいです。

【学生へのメッセージ】

1年、2年、そして3年続けて中国語を勉強する情熱はまず評価したいです。その情熱をもって一緒に楽しく勉強しましょう。頑張ってくれば、2008年北京オリンピックに一人で行けますよ。

【その他】

無断欠席、遅刻しないように！